

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

D 進ちょく管理型

No.

1002010

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名	快適トイレのモデル導入					所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課			
	ホーム・シアトルズ http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html					(連絡先)	213-4960			
						(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志			
22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 縮小等による見直し			24予算額 (千円)	事務事業の内容				
10,496	10,496				3,441	完全自動洗浄システム付トイレを設置する。				
業務運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容								
	<input checked="" type="checkbox"/> 部分委託	(名称) 環協株式会社								
	<input type="checkbox"/> 部分補助等	(内容) 完全自動洗浄式快適トイレ保守管理業務								
	<input type="checkbox"/> 全部委託									
	<input type="checkbox"/> 全部補助等									
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							事務事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 任意的事業	
	開始時期	平成	15	年度	終了(予定)時期	平成	24	年度	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計
事業に関連する 実行計画等	<input type="checkbox"/> 有	計画名							計画期間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無									

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	19,355	10,508	10,496	10,496	3,441
		使用料及び賃借料	14,238	7,005	6,993	6,993	2,494
		工事請負費					
		負担金補助及び交付金					
		①' 委託料 保守管理業務	5,117	3,503	3,503	3,503	947
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	26.4%	33.3%	33.4%	33.4%	27.5%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	9,292	7,244	4,980	4,980	4,980
		職員(課長級) (人)	0.13	0.11	0.06	0.06	0.06
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.31	0.24	0.14	0.14	0.14
		職員(係員) (人)	0.52	0.41	0.35	0.35	0.35
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+②) (千円)	28,647	17,752	15,476	15,476	8,421
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)	1,835	1,183	948	1,205	375
	国庫・府支出金 (千円)						
	その他(トイレ使用料収入) (千円)	1,835	1,183	948	1,205	375	
⑥	京都市年間負担経費 (③-④) (千円)	26,812	16,569	14,528	14,271	8,046	

平成23年度
(平成22年度分)

II 評価結果

事業名 快適トイレのモデル導入

業績評価

A 進捗状況	平成20年度以前	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実施状況		稼動（2基） ・阪急嵐山駅前快適トイレ ・きよみず快適トイレ	稼動（2基） ・阪急嵐山駅前快適トイレ ・きよみず快適トイレ	稼動（2基） ・阪急嵐山駅前快適トイレ ・きよみず快適トイレ
事業の進捗率				
進捗状況分析	平成22年度は、引き続き、阪急嵐山駅前及びきよみずの2基を稼動。			
B 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般	<現状分析、今後の方針等> コストや利用状況等を踏まえ、事業を終了する。		

III 今後の方向性

縮小等による見直し	(今後の方向性理由及び具体的な内容) コストや利用状況等を踏まえ平成24年度中に、阪急嵐山駅前レについては廃止し、きよみずについては一般公衆トイレに改修することとし、当該事業は終了する。 きよみずは一般公衆トイレ化のうえ、公衆トイレ整備事業と統合する。
-----------	--